

Uターン栽培用誘引具

誘引作業の省力化・合理的な栽培方法

ひき子Ⅱ
—YHUKO—



誘引作業の省力化。植物の育成理論に基づいた合理的な栽培方法。
大幅な労力削減ができるだけでなく、高温障害・ボト病などを防ぎ、安定した収穫が出来ます。

プロが認めた
省力栽培・安定収穫



近代農業開発

ナスニックス株式会社

〒326-0334 栃木県足利市下渋垂町 688 FAX : 0284-73-6279



0284-70-0505

ナスニックス

検索

🍅 Uターン栽培が可能にした 🍅

誘引作業の省力化・合理的な栽培方法

Uターン栽培を行う事により、従来の長段取りを行う為の斜め誘引や、すり下ろし誘引から解放され、労力が大幅に軽減されます。又垂直誘引する為、立木の交差が無く、十分な光量を得る事が出来ます。且つ屈地性※により、根張りが良く、養分吸収が促進され、後期になっても草勢が衰えません。そして、段数も増え、大幅な増収へとつながります。

※生長芽は上へ上へと伸び、根は逆に地中深く深くと生育する性質

安定した収穫

斜め誘引では立木にストレスがかかり、空洞果や果房の生育の遅れ等の問題を引き起こしますが、Uターン栽培ではストレスがない為、玉伸びが良く、大玉の果実が収穫後期を通して、安定した収穫が可能となります。

無理する事なくUターン、病害虫の抑制

U子IIを使用すると、自然な形でUターンが形成され、茎を痛めたり折る事で発症するボト病の心配は有りません。又、株間約35cmでもハウス内の採光・通風が良くなるので、病害虫の発生が抑制されます。

坪当たりの株数が増加

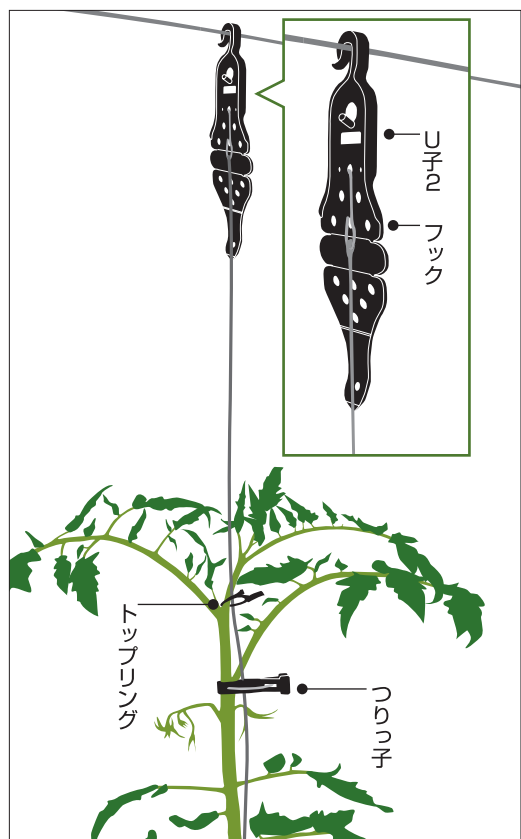
Uターン栽培をすることにより、株間を約35cmにすることが出来ます。そして、坪当たりの株数が多く入り、増収へとつながります。

優れた耐久性

特殊樹脂を使用しているため耐久性に優れ、何年も繰り返し使用できるので経済的です。

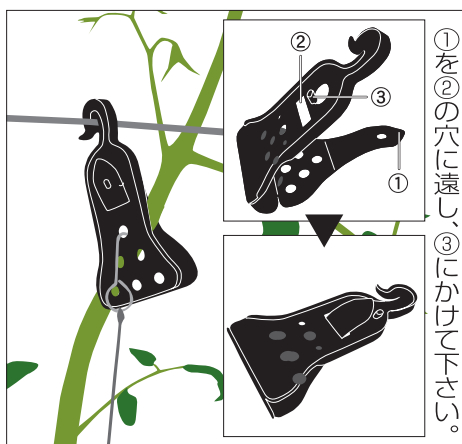
使用方法

1



フックに紐を付け、穴に差し込みます。又は、紐を穴に通して結びます。苗の草丈が高くなったら「トップリング」や「つりっ子」でつりっ子紐（誘引線）と茎を固定します。

2



成長芽が誘引線より、20cm程達したら、図の様に「U子II」をセットし、茎を挟み込むようにします。

3



その後、果房の重みで「U子II」が図の様に茎を支え、理想的なトマトのUターン栽培が出来ます。

